

墨田区のお知らせ2014.6.11 NO.1749 (毎月1日・11日・21日発行)

すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) 公5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
- 2~4面…区会議議長・副議長、区議会議員選出監査委員の就任
- 5面…は～もに～
- 6面…すこやかライフ
- 7・8面…講座・教室・催し・募集

すみだと全国の旬間歳時記

●五月雨(さみだれ)

旧暦の5月、現在の暦で6月頃に降る雨のことで、五月(さつき)を意味する接頭語「さ」と、雨を意味する「みだれ」を組み合わせでできた言葉。雨が途切れながらも長く降り続く様子から、「断続的にいつまでも続くこと」の例えとしても用いられている。

<http://www.city.sumida.lg.jp/>

笑顔につながるはじめての一步 すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム

誰もが安心して暮らせるまちの実現には、地域で人と人がつながり、支え合うことが大切です。区では、地域における人のつながりを育むため、「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」を開催します。この催しを通じて支え合いやボランティア活動への理解を深め、笑顔があふれるまちを創るための第一歩を踏み出してみませんか。

人と人とのつながりで 笑顔があふれるまちづくり

区では、様々な人や団体等との協働により、誰もが自分らしく安心して暮らせるまちを創る「地域福祉」の考え方に基づく施策を展開しています。こうしたまちの実現には、日

頃からの人と人とのつながりが不可欠です。そして、このつながりは、様々なボランティア活動はもちろん、日々の声掛けや見守りなどによる「支え合い」を通して育まれます。そこで区では、支え合いの輪を広げ、地域福祉活動をさらに充実させるため、墨田区社会福祉協議会と協



【左上】小学校の集会室に地域の方が集まり、交流する拠点型「ふれあいサロン」活動(活動の一環として、小学生の朝顔の種まきをお手伝いしました) 【左下】車いすごと乗れる自動車「ハンディキャブ」の運転ボランティア活動 【右】学童クラブでの育成補助ボランティア活動

力して「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」を開催します。地域福祉活動やボランティア活動に関するパネルディスカッション、様々なテーマで参加者同士が語り合う分科会など、地域福祉活動の魅力を知ることができる内容となっています。このフォーラムへの参加をきつ

けに、地域での支え合いやボランティア活動への第一歩を踏み出し、笑顔があふれるまちを、みんなで創っていきましょう。
【問合せ】▶厚生課厚生係(区役所3階) 公5608-1163 ▶すみだボランティアセンター(東向島2-17-14) 公3612-2940

すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム

- とき** 7月5日(土)午後0時半～5時
- ところ** すみだリバーサイドホール2階イベントホール(区役所に併設)
- 内容** ▶ブレトーク「すみだの地域社会を作った先人から何を学ぶのか」▶パネルディスカッション ▶分科会(テーマは「子どもたちが豊かに育つまち“新しくなる子育て支援制度の中で”」、「誰もが安心して暮らせるまち“高齢者を支える取組をきっかけに”」、「聞いて話してつながろう“ワールドカフェ型広場”」)▶ボランティア活動PRコーナー *詳細は申込先等で配布中のチラシや、区ホームページを参照
- 入場料** 無料
- 申込み** 希望する分科会のテーマ、氏名を電話または、ファクス、Eメールで6月27日までに▶厚生課厚生係 公5608-1163・FAX5608-6403・Eメール KOUSEI@city.sumida.lg.jp ▶すみだボランティアセンター 公3612-2940・FAX3612-2944・Eメール vc@sumida-shakyo.or.jpへ *当日会場でも申込可 *手話通訳、1歳～就学前の子どもの一時保育を希望する場合は電話番号、子どもの年齢(一時保育希望者のみ)も6月27日までに申込先へ



私たちが元気をもらっています
墨田区社会福祉協議会で実施している「おもちゃサロン」のボランティア
(左から)田山路子さん、川島 まち子さん、名場祐子さん

障害のある子もいない子もおもちゃで自由に遊ぶことができる「おもちゃサロン」のボランティアとして、お子さんとおもちゃで遊んだり、見守りなどを行っています。言葉を覚えたり、おもちゃで上手に遊べるようになったりと、お子さんの成長を間近で見ることができるのは、この活動の大きな魅力だと思います。また、お母さんから子育てなどについての相談を受けることもあります。周りの人になかなか悩み

を話せなくて困っている方もいるので、身近な相談相手になれるように心掛けています。この活動では、私たちが子育てのお手伝いをしているようですが、実は私たちの方こそ、多くのものを得ています。お子さんからは元気をもらっていますし、お話ししたお母さんの表情が明るくなったのを見ると、とてもうれしくなりますね。お互いが笑顔になれるこの素晴らしい活動を、これからも長く続けていきたいです。

人と人との関係が“有機的”なまちにしていきたいですね ボランティアフォーラムのパネリスト 中村 敬さん(緑二丁目在住)



「自分のフィールドで楽しもう」と、自分の工場を使って、友人と一緒にジャズや琴、現代舞踏など、その時その時で楽しめるイベントを開催してきました。大学で福祉について学び、以前から地域コミュニティに関心があったので、せっかくなら地域の人と一緒に楽しめればと思い、ご近所にチ

ラシを配りました。新しくこの地域に住むようになった人とも交流ができれば良いなと考えたんです。チラシを見て参加してくれ、今でも交流が続いている人もいますよ。いろいろな人と出会えると、いろいろな話が聞けて、自分の世界が広がっていく面白さがありますね。人と人がつながっていく

と、暮らしの中での支え合いや見守り合いになっていく可能性もありますし。これからも自分のできる範囲で、楽しみながら続けていきます。こうした活動が、人と人が“有機的”につながるまちづくりに役立てばうれしいですね。